

# 「幻の安土城」復元プロジェクトにおける諸計画について

教育・文化スポーツ常任委員会資料  
令和3年(2021年)6月9日  
文化スポーツ部文化財保護課

## 「幻の安土城」復元プロジェクトの概要

### 主旨・目的

謎に包まれた安土城の実像を解明し、目に見える形にすることにより、安土城の価値・魅力を広く発信し、県および地域の盛り上がりにつなげる。



### 柱1

#### 安土城の実像解明と保全

安土城の実像を解明し、城跡を永く守り、伝えていく。

特別史跡安土城跡の調査と整備  
(R3・R4:特別史跡安土城跡整備基本計画の策定)

昭和・平成の調査成果の整理と研究  
城跡の修景・修覆

### 柱2

#### 安土城の見える化

安土城の実像を目に見える形にする。

安土城(天主)のデジタル復元  
(R3:「幻の安土城」見える化基本構想の策定)

安土城考古博物館展示リニューアル  
(R2:博物館展示基本計画の策定  
~県内城郭との連携・周辺史跡への誘導)  
「安土山図屏風」等資料探索HPの公開

### 柱3

#### 機運醸成

安土城の価値・魅力を発信し、安土城への関心を高める。

ここ滋賀歴史セミナー  
お城EXPO  
「近江の城」魅力発信事業

観光プロモーション事業  
(「滋賀の魅力」観光PR事業・  
今こそ滋賀を旅しよう!宿泊キャンペーン事業)

## 安土築城450年祭(令和8年)

特別史跡安土城跡調査整備事業が進行  
・新たな遺構の発見と公開  
・石垣見える化の進行  
・回遊路整備による公開の促進  
・ARによる情報発信

安土城・城下町の見える化の実施  
・信長時代の安土のデジタル復元と公開  
・天主のデジタル復元と公開  
・安土城考古博物館での大型シアターの公開。安土城跡発掘現場のリモート接続によるリアルタイム公開。  
多彩なアイデアにもとづく最新デジタル技術の体験

戦国・城郭をテーマにした観光プロモーション事業を展開

安土城の魅力を世界に発信し、未来にむけてさらに継承していく

策定予定の計画等の概要

安土城の実像解明と保全

特別史跡安土城跡整備基本計画  
(R3・R4に策定)

史跡の保存と継承  
実像解明による新たな価値・魅力の発見

- ・「幻の安土城」復元プロジェクトに平成31年度から取り組んでいるが、事業の柱の一つが、復元に向けての安土城の実像解明と保全事業。
- ・安土城の実像解明に向けては、現地の発掘調査が不可欠であるが、昭和、平成に実施した発掘調査では、史跡指定範囲の約20%しか調査がされておらず、いまだ未解明のエリアが多く残されており、今後とも継続的に調査する必要がある。

特別史跡安土城跡調査整備事業の内容

- ・伝本丸北側（天主倒壊地域）等の発掘調査に着手し、調査状況・調査成果を一般に公開。
- ・赤色立体地図で新たに確認された遺構の現地踏査を実施し、未知の遺構の状況を公表。
- ・樹木の整理を進め、伝本丸周辺の石垣が見えるようにする。
- ・主郭外周路整備を進め、安土城の姿をよりわかりやすく公開。
- ・AR（拡張現実）などデジタル技術を活用し、多言語で発掘調査成果などの情報を、現地で発信。
- ・内堀、外堀を中心とした安土城跡の南面景観の修景。

安土城の見える化

「幻の安土城」見える化基本構想  
(R3に策定)

名称

目的

背景

現時点で考えられるR8の到達点

デジタルによる安土城・天主・城下町の復元  
最先端技術を活用した安土城の価値・魅力の発信  
県・地域のブランド力強化

- ・「幻の安土城」復元プロジェクトに平成31年度から取り組んでいるが、事業の柱の一つが、安土城見える化の検討。
- ・令和2年度に、安土城見える化の方向性と方法について県民アンケート等幅広く外部の意見募集を行い、実像解明のための調査事業を進めるとともに、令和8年度の安土城築城450年に向けて、最新のデジタル技術を活用した安土城の復元を目指すことを決定した。

信長時代の安土デジタル復元事業の実施

- ・デジタル技術（AR・VR・MR）によって信長時代の安土城・城下町の様子を再現し、安土城跡・城下町や、安土城考古博物館・安土城郭資料館など、各所で公開（近江八幡市と連携）。
- 安土城天主デジタル復元事業の実施
  - ・複数ある安土城天主復元案をデジタルにより復元し、天主復元の現状について、わかりやすくアプリ等で公開。
- 安土城考古博物館展示リニューアルの実施
  - ・リニューアル後の第1展示室で、デジタル技術を活用したシアター展示を行い、戦国の近江、安土城の歴史、安土城跡の調査成果など、現地では体験できない姿を大迫力の映像で体感。
  - ・発掘調査現場と安土城考古博物館をリモートで接続。リアルタイムで、安土城跡の発掘調査を専門の学芸員の解説により公開。多彩なアイデアにもとづく最新デジタル技術の体験

# 特別史跡安土城跡周辺地図



## 安土城跡の保存・調査・整備の歴史

年		事項
大正15年10月20日	1926	安土城跡が史蹟に指定される。
昭和3年2月9日	1928	滋賀県が史蹟安土城跡の管理団体に指定される。
昭和4年～6年	1929～ 31	織田信長350回忌に向けて、山内各所の整備が行われる。 大手口・百々橋口・東門口への「安土城跡」の石標設置 大手道・百々橋口道の石段修理
昭和8年	1933	織田信長350回忌が催される。
昭和15年・16年	1940・ 41	天主・伝本丸跡の発掘調査が行われる。
昭和27年3月29日	1952	安土城跡が特別史蹟に指定される。
昭和35年～50年	1960～ 75	主郭部の石垣修理と発掘調査が行われる。
昭和57年	1982	織田信長400年祭が催される。
平成元年～20年	1989～ 2008	特別史蹟安土城跡調査・整備事業が行われる。 大手道の発掘調査・環境整備 伝羽柴秀吉邸跡・伝前田利家邸跡の発掘調査・環境整備 大手口周辺の発掘調査・環境整備 安土山山裾部（大手口～百々橋口）の発掘調査・環境整備 主郭部（天主跡・伝本丸跡・伝三の丸跡・主郭外周）の発掘調査 百々橋口道・搦手道の発掘調査
令和3年	2021	特別史蹟安土城跡整備基本計画の策定に着手する。 令和の大調査スタート

## 『特別史跡安土城跡整備基本計画』構成案

### 1. 計画策定の経緯と目的

- (1) 計画策定の経緯
- (2) 計画の目的
- (3) 検討会議の設置
- (4) 関連計画との関係

### 2. 計画地の現状

- (1) 自然的環境
- (2) 歴史的環境
- (3) 社会的環境

### 3. 史跡等の概要および現状と課題

#### 【概要】

- (1) 史跡等指定の状況
- (2) 史跡等の概要
- (3) 史跡等の公開活用のための諸条件
- (4) 広域関連整備計画

#### 【現状と課題】

- (1) 史跡の保全と管理としての課題 [維持管理]
- (2) 安土城の価値の証明としての課題 [発掘調査]
- (3) 公開活用としての課題 [環境整備]
- (4) 周辺環境

### 4. 基本方針

- (1) 全体及び地区区分
- (2) 遺構保存に関する方針
- (3) 遺構表示に関する方針
- (4) 保全管理に関する方針
- (5) 公開活用に関する方針

### 5. 基本計画

- (1) 令和の調査整備計画
- (2) 修景および植栽計画
- (3) 動線計画
- (4) 案内・解説施設設置に関する計画
- (5) 管理施設および便益施設に関する計画
- (6) 公開活用のための施設に関する計画
- (7) 周辺地域の環境保全に関する計画
- (8) 地域全体における関連文化財等との有機的な整備活用に関する計画
- (9) 公開・活用に関する計画
- (10) 管理・運営に関する計画

### 6. 全体事業計画